全体	16
個別	03-01

令和３年度 ［観 光 交 流 商 工 部］ 組織目標

課名等	観　光　商　工　課

総合計画の区分	挑　戦	なりわいづくり
	最優先課題	地域経済の循環の仕組みを確立する
項　目	ウィズコロナ・アフターコロナにおける観光客受入体制の整備	
内　容	金田城の日本最強の城選定（ＮＨＫ）や世界ふしぎ発見（ＴＢＳ）の放映、世界的大ヒットとなったゲーム「ゴースト オブ ツシマ」の効果等により、国内はもとより世界的に対馬の認知度が上がり、コロナ禍にあっても来島意欲の高まりが見受けられます。 また、コロナ鎮静化後には、ＧＯＴＯキャンペーンやしま旅商品の再開により、少なからず観光客の戻りが予想され、特に若い世代の個人客の来島が期待されるところです。 この機を逃さず、対馬の魅力を最大限感じていただき、再び訪れていただけるような多様な観光コンテンツの造成、おもてなし環境の整備を図ります。	
指　標 （数値目標）	①金田城を核とした観光活用連携事業 ・活用連携プロジェクト委員会の開催（２回） ・トイレカー導入（１台）、ＡＲ等視覚的コンテンツ作成（３か所） ②アウトドアコンテンツの開発・磨き上げ ・専用特設サイト動画チャンネル等での配信 ・アウトドアイベント、スタディツアーの実施 ③おもてなし協議会による受入体制強化 ・事業者間連携体制構築（ＷＳ３回開催）、パンフレット作成 ・観光客満足度調査による検証、セミナーの開催（２回） ④ガイド養成事業による「まちあるきガイド」養成 ・養成講座の開催（１０回）、ハンドブック作成 ・バスガイド運用システム構築に向けた調整	
達成時期	令和４年３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
金田城を核とした観光活用連携事業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
アウトドアコンテンツの開発・磨き上げ	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	
おもてなし協議会による受入体制強化	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	
ガイド養成事業による「まちあるきガイド」養成	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	

全体	17
個別	03-02

令和３年度 ［観 光 交 流 商 工 部］ 組織目標

課名等	観　光　商　工　課

総合計画の区分	挑　戦	なりわいづくり
	最優先課題	地域経済の循環の仕組みを確立する
項　目	誘客多角化に向けた準備	
内　容	年間４１万人を数えた韓国人観光客は、日韓関係悪化に加え新型コロナ蔓延による航路運休を受け皆無となり、依存度が高かった分、市内観光産業への影響は大であります。 韓国人観光客へ依存しすぎた反省に立ち、台湾、中国、欧米豪といったその他のインバウンド誘致を図るとともに、ワーケーション・スポーツ合宿等といったこれまで本市になかった切り口での誘客を推進し、観光客の多角化を図り、リスクの分散化を図ります。	
指　標 （数値目標）	①インバウンド多角化推進事業 ・旅行会社への訪問、旅行博等への出展 ②対馬を舞台にした作品等を活用した情報発信事業 ・ＰＲサイト及びＳＮＳでの情報発信 ③ワーケーション誘致事業 ・社労士法人との協働による事業へのアプローチ ・対馬でのオフサイト研修ファムトリップの実施（５社） ④スポーツ合宿、文化芸術合宿誘致事業 ・スポーツ合宿の実施（２団体） ・文化芸術合宿の実施（１団体） ⑤チャーター便誘致推進調査事業 ・課題把握及びニーズ調査、給油体制及び旋回帯整備に向けた調査	
達成時期	令和４年３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
インバウンド多角化推進事業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
対馬を舞台にしたゲーム・アニメ等を活用した情報発信事業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
ワーケーション誘致事業	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	
スポーツ合宿、文化芸術合宿誘致事業	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	
チャーター便致推進調査事業	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	

全体	18
個別	03-03

令和３年度 ［観 光 交 流 商 工 部］ 組織目標

課名等	観　光　商　工　課

総合計画の区分	挑　戦	なりわいづくり
	最優先課題	事業を承継･拡大して雇用を創出する
項　目	コロナ禍における市内経済の下支え事業の実施	
内　容	新型コロナ感染症の影響による観光客の減少に加え、市民の外食への自粛傾向が長期間続き、宿泊事業者・飲食事業者をはじめ観光関係事業者は大きな影響を受け、雇用の安定や事業継続が難しい状況となっています。 雇用環境の崩壊と市内経済の地盤沈下を最小限にするため市内消費喚起策及び事業支援を時期を見極めて実施し、市内経済の下支えをするとともに、アフターコロナの観光客の戻りに備えた事業の存続を支援します。	
指　標 （数値目標）	①市内経済活性化事業 ・市内消費喚起策の検討と実施 ②事業者経営支援事業 ・コロナ対策協力金の支給 ・緊急一時支援金の支給 ・その他国及び県の支援事業の実施と広報	
達成時期	令和４年３月	

スケジュール	取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	市内経済活性化事業				↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
	事業者経営支援事業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

全体	19
個別	03-04

令和３年度 ［観 光 交 流 商 工 部］ 組織目標

課名等	文　化　交　流　課

総合計画の区分	挑　戦	つながりづくり
	最優先課題	多様な主体によるしまづくりを推進する
項　目	国内外の交流の推進	
内　容	①朝鮮通信使歴史館の完成を目指します。 ②新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、可能な国際交流事業の実施や国際交流イベントへの支援を行います。 ③国際交流・国際理解に関する市民対象の情報提供等を行います。 ④朝鮮通信使によるまちづくり事業として、朝鮮通信使関連商品の開発を行います。	
指　標 （数値目標）	①朝鮮通信使歴史館の令和３年１０月３１日までの開館を目指し整備します。 ②対馬島内韓国文化体験ホームステイ事業を（対馬市内の小学生・中学・高校生を対象に１０名程度）実施します。 ③韓国情報誌「つしま しまいの まがじん」を４回発行します。 ④朝鮮通信使関連商品の開発として、さつま芋を使ったスイーツを１品と朝鮮通信使をモチーフとした専用パッケージの制作を行います。	
達成時期	令和４年３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
朝鮮通信使歴史館整備	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔					
国際交流事業・イベント支援			↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
国際交流・国際理解に関する情報提供	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
朝鮮通信使によるまちづくり事業			↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	20
個別	03-05

令和３年度 ［観 光 交 流 商 工 部］ 組織目標

課名等	文　化　交　流　課

総合計画の区分	挑　戦	ふるさとづくり
	最優先課題	貴重な資産・資源を継承・活用する
項　目	固有の遺跡や文化財の保存と活用	
内　容	日本遺産「国境の島」壱岐・対馬・五島～古代からの架け橋～の認定ストーリー及び構成遺産を市民へ周知し、観光産業への活用を推進します。	
指　標 （数値目標）	①市内全中学生（７２４名）へ冊子「国境のひみつ」を配布 ②日本遺産まち歩きコースの設定・運用 ③日本遺産活用検討のための市民参加委員会の設置	
達成時期	令和４年３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
「国境のひみつ」配布		↔	↔									
まち歩きコースの設定・運用			↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
市民参加委員会の設置			↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	21
個別	03-06

令和３年度 ［観 光 交 流 商 工 部］ 組織目標

課名等	博　物　館　学　芸　課

総合計画の区分	挑　戦	ふるさとづくり
	最優先課題	貴重な資産・資源を継承・活用する
項　　目	対馬固有の自然、文化、芸術、歴史遺産等の活用	
内　　容	1 対馬博物館施設(交流ゾーン)建設工事を完了させます。 2 令和４年４月の開館に向け、対馬博物館ホームページや公式ＳＮＳ、パンフレット等による博物館情報を市内外に発信するとともに、教育普及活動（ワークショップの開催等）による知名度の向上及び来場者の誘引を図ります。	
指　　標 (数値目標)	1 ①交流ゾーン建設工事の完了 2 ①対馬博物館ホームページや公式ＳＮＳなどを利用した情報発信 ・対馬博物館ホームページを活用した情報発信 ・公式ＳＮＳを活用した情報発信　⇒８０回 ②教育普及活動（ワークショップ等の開催） ・プロモーションイベント　⇒７回／１５０名 ・自然史イベント　⇒２回／１００名 ・考古イベント　⇒２回／１００名	
達成時期	令和４年３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
交流ゾーン建設工事												
対馬博物館ホームページや公式ＳＮＳなどを利用した情報発信												
教育普及活動（ワークショップ等の開催）												

全体	22
個別	03-07

令和３年度 ［観 光 交 流 商 工 部］ 組織目標

課名等	福　岡　事　務　所

総合計画の区分	挑　戦	なりわいづくり
	最優先課題	地域経済の循環の仕組みを確立する
項　目	よりあい処つしまを核とした観光・物産情報の発信	
内　容	対馬の観光、物産情報を発信するため、次の事業を行います ①ラジオ番組による対馬観光体験の連続放送の実施 ②対馬島”窓会の開催 ③メディアを活用した情報発信	
指　標 （数値目標）	・メディア（ＴＶ、ラジオ、情報誌等）発信件数：令和３年度　１２回	
達成時期	令和４年３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
ラジオ番組による対馬観光体験連続放送				収録		放　送						
対馬島”窓会												
メディアを活用した情報発信												

全体	23
個別	03-08

令和３年度 ［観 光 交 流 商 工 部］ 組織目標

課名等	福　岡　事　務　所

総合計画の区分	挑　戦	なりわいづくり
	最優先課題	事業を承継・継続して雇用を創出する
項　目	対馬産品を取扱う島外の飲食店・販売店への営業、広報活動の促進	
内　容	福岡市及び福岡都市圏において、対馬産品を取り扱う事業者または対馬の情報発信に協力していただける事業者を、サポートショップとして認定する制度を再検討し、対馬産品の販路拡大と対馬の認知度向上を目指します。	
指　標（数値目標）	【達成年度】 ・サポートショップの認定数：令和７年度末５０か所 【今年度】 ・サポートショップの認定数：令和３年度３０か所	
達成時期	令和４年３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
サポートショップ制度の検討	↔	↔	↔									
関係事業者への訪問				↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
サポートショップの認定						↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔